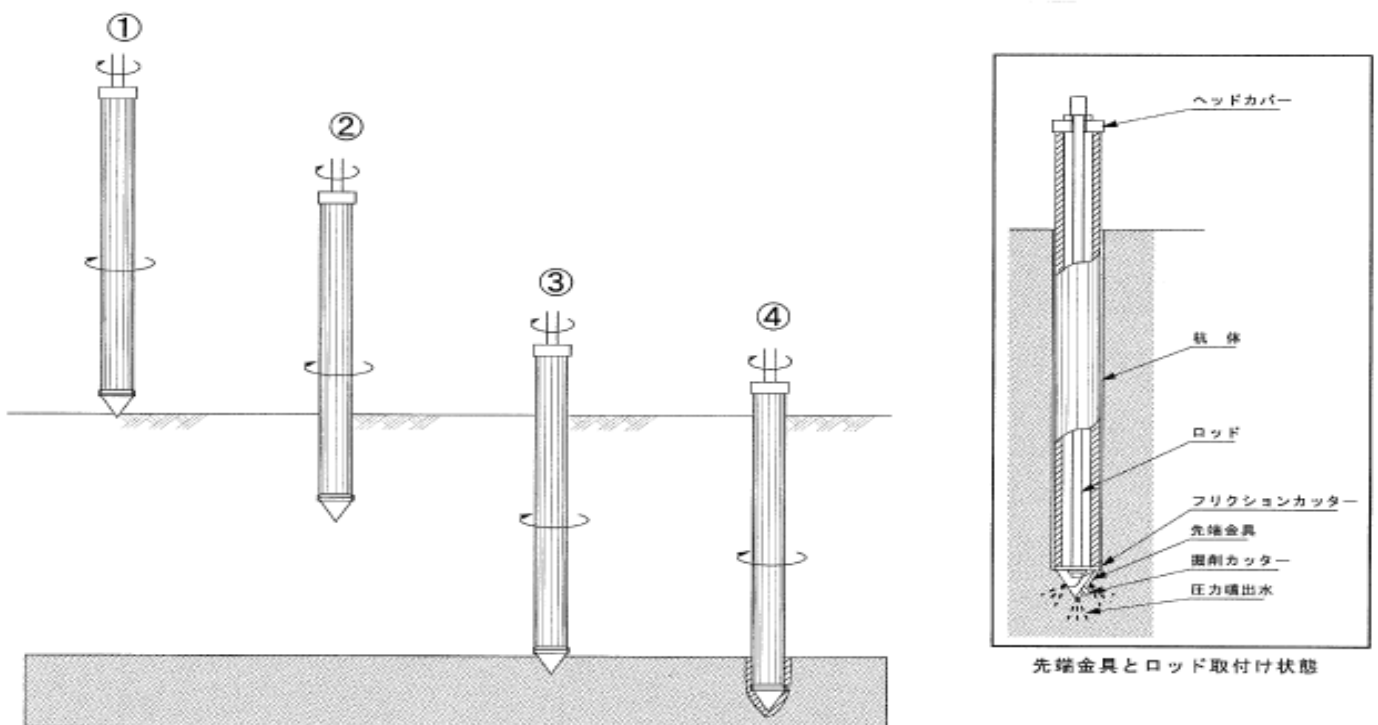


回転根固め工法

旧建設大臣認定工法で、認定取得会社の施工による。施工プロセスが異なるものもあるが、その一例を示す。杭先端部に特殊掘削ビットを取り付け、杭中空部に挿入したロッドを介して杭に回転を与えながら沈設し固定させ所定深度に達した後、根固め液に切替えて杭先端部に注入する。根固め液の硬化によって支持力を発現させる。適用杭径は、400～600mm、最大杭長は、50mかつ杭径の110倍程度。



- ① あらかじめ特殊掘削カッターを溶接してある杭の中空部に、ロッドを挿入して杭を建込む。
- ② くい打ち機に装備されているオーガ駆動装置とロッドを接続し、鉛直度を確認後、ロッドを介して杭を回転させながら、特殊掘削カッターのノズルから掘削水を吐出する。
- ③ 杭を回転させながら支持層中の所定深度まで沈設する。
- ④ 所定深度まで沈設後、掘削水から根固め液に切り換えて根固め球根を築造し、その硬化によって支持力を発現させる。